

平成28年度 第2回大東市産業振興市民会議（報告）

1. 日時・場所 平成28年8月24日（木）午後3時30分～5時30分
大東市役所 東別館2階会議室

2. 出欠

【出席】

会長	（株）山田製作所 代表取締役社長	山田 茂
副会長	NPO法人住まいみまもりたい 理事長	吉村 悦子
委員	大阪産業大学 教育研究推進センター長・人間環境学部准教授	濱崎 竜英
	大阪経済大学経営学部准教授	遠原 智文
	明星シンセティック（株） 代表取締役社長	上田 隆章
	新大阪食品産業（株） 代表取締役	北尻 正太
	大東市商業連合会 会長	角谷 昌寛
	NPO法人大東夢づくりコミュニティ 代表理事	杉山 朋子
	マザーアースアソシエーション 代表	田中 早由里
	経済産業省 近畿経済産業局 総務企画部 企画課長	細川 洋一

【欠席】

委員 大東商工会議所副会頭 (株)キョウコーポレーション 代表取締役 梅木 京子

事務局 産業労働課 森田次長・坂本上席主査・林

3. 議案

(1) 大東ビジネス創造センター（D-Biz）について

- ・D-Bizセンター長には、前のビジネスプロモーターのように市内を自転車で走り回って情報収集をするような現場主義の人になってもらいたい。
- ・役所的ではなく親身になってくれる人。
- ・スキルというよりも結局は人間性。おせっかいなくらい熱心に一緒に取り組んでくれる人がよい。
- ・見た目という意味だけでなく、通いたくなるような存在感、雰囲気のある人がよい。
- ・アイデア、発信力のある人。
- ・ソーシャルビジネス、海外展開など新しい発想で取引拡大を行える人。
- ・固定観念で男性というイメージになっていないか。女性という選択肢も考えておくべき。
- ・D-Bizについて自ら発信できる人でないと知らないままに終わってしまう。
- ・センター長1人の能力にかかっているなので慎重に選考してほしい。

(2) その他

- 八尾市はロボットがものづくりの看板になっている。大東といえばこれだというものを打ち出して発信する必要があるのではないか。
- 天神祭の花娘は、Facebookによる情報発信やレシート一枚を投票用紙にするなど商店街を盛り上げる様々な工夫をしている。
- 徳島県上勝町の株式会社いろどりが行っている「葉っぱビジネス」のように、高齢者の方が働ける仕組みづくりが重要。
- I o Tが広まると仕事がなくなり雇用が減る分野もできてくる。また、職人技いわゆる匠の技と呼ばれるようなものも単純に機械化してしまうと日本の国際競争力は低下してしまう。
- 高齢者や障害者、女性などで働きたいと思う全ての人が多様な働き方ができる社会を作る必要がある。
- 障害者を雇用すると、漢字で表記していたものをひらがなに直したり、グラム表示とキログラム表示を読み間違いの無いよう統一したり、働きやすい職場になるよう気付きが生まれ、仕組みづくりが行われた。
- 適材適所といわれるが、結局高い能力の人に依存してしまっている。それを解消するには、仕事の工程の細分化を行い、能力に応じた分担を行うことが本当の意味での適材適所である。
- 障害者雇用の取り組みを学ぶためにも、次回の会議は川村義肢で開催させてもらうのはどうか。

4. 次回開催について

10月開催。別途調整する。